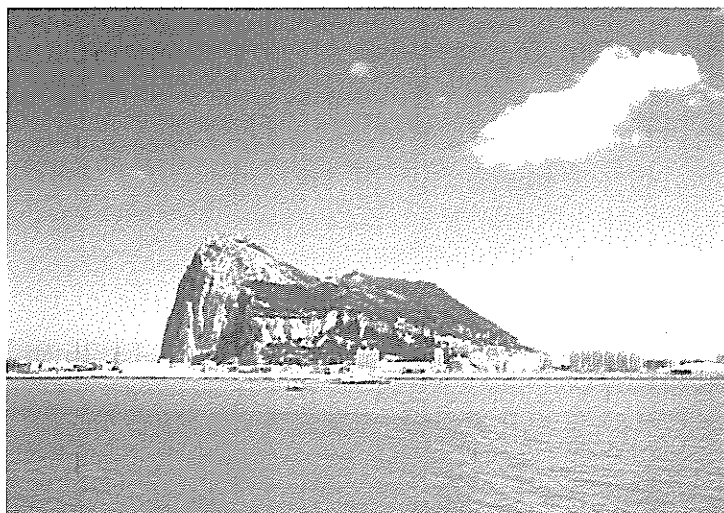


## 2016年度 変額年金保険(特別勘定)決算のお知らせ



- 当資料は、特別勘定の運用状況等を報告するための資料であり、生命保険契約の募集または特別勘定が保有する投資信託の勧誘を目的とするものではありません。
- この商品は、特別勘定の運用実績に基づいて年金額、積立金額、解約返戻金額等が日々変動(増減)する個人変額年金保険(生命保険)です。
- 当資料に記載された過去の運用実績に関するいかなる内容も、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。

当社では、ご契約の申込時や各種お手続きにおいて、保険料などを現金でお預かりすることはありません。お客さまが保険金などをお受取り後に新たなご契約にご加入される際にも、保険料を現金や小切手でお預かりすることや、個人名義や代理店名義の口座など、当社名義以外の口座にお振込をお願いすることはありません。ご心配・ご不審な点がございましたら、下記コールセンターまでご連絡をお願いします。

### お電話でのお問い合わせ先

ジブラルタ生命コールセンター

●一般のお客さま

ミナ ジブロック

**0120-37-2269** 通話料無料

●教職員のお客さま

ミナ キョウイク

**0120-37-9419** 通話料無料

受付時間 平日 8:30～20:00 / 土曜 9:00～17:00 (日・祝・12/31～1/3を除く)

2017年7月作成



**Gibraltar**  
ジブラルタ生命

## ご契約者のみなさまへ

弊社保険につきまして、日頃よりご愛顧、ご継続をいただき誠にありがとうございます。

さて、2016年度の決算を終えましたので、特別勘定についての決算概要をご報告申し上げます。当期の特別勘定の運用につきましては以下のとおりとなっております。

今後ともご期待にお応えすべく運用力の強化に努めてまいりますので、一層のお引き立ての程よろしくお願い申し上げます。

### 1. 市場動向(2016年4月1日～2017年3月31日)

#### 【市場動向】

2016年度の国内債券市場(新発10年国債利回り)は、当初、英国国民投票によるEU離脱決定で世界経済の不透明感が台頭し一時-0.3%近くまで低下しました。その後、日銀が7月会合で9月に金融政策の総括的検証を行うと発表し金利は上昇に転じました。9月会合では長期金利を概ねゼロ%程度で推移させるイールドカーブ・コントロールを導入したため、その後はレンジでの動きとなり、年度末は0.065%で取引を終えました。

国内株式市場は、当初、日米金融政策の動向や英国国民投票によるEU離脱決定でリスクオフとなり、一時15,000円を下回りました。米大統領選でトランプ氏が勝利すると新政権の政策期待や米国利上げ期待からドル高を背景に堅調に推移したものの、期末にかけて伸び悩み、日経平均株価は18,909.26円で取引を終えました。

外国債券市場は、当初、米10年物国債利回りは不調な米雇用統計や英国国民投票を巡る不透明感から低下しました。7月以降は良好な米経済指標などを背景に上昇に転じ、米大統領選後は新政権の政策期待や米利上げ期待から一段と金利水準は高まりましたが、期末にかけて期待剥落で伸び悩み、2.3%台で取引を終えました。

外国株式市場は、期初、原油価格が相場の下支えとなるも、英国国民投票を契機に6月末にかけて弱含みました。その後は米国景気への安心感で上昇するも米国利上げ期待の高まりで上値が重い展開となりました。米大統領選後は新政権の政策期待で強含みましたが、期末にかけて政策実現性への懸念から伸び悩みました。

為替市場については、ドル円相場は米利上げ観測が高まったものの、英国国民投票に向けてリスクオフの相場展開となり円高が進みました。その後は良好な米経済指標や米新政権の政策期待からドル高が進みましたが、期待剥落で円高圧力がかかり、期末のドル円相場は1ドル112円台となりました。ユーロ円相場も米新政権への期待でユーロ高となる場面もありましたが、欧州政治リスクや米新政権の政策懸念を受け、年度でみると円高ユーロ安が進行しました。

#### ○最低年金原資保証タイプ

##### (1) 当期の運用方針及び運用内容

運用の基本方針は、国内外の株式・国内外の公社債・短期金融商品等を組み合わせ、リスク低減に努めつつ中長期的な運用成果を目指しております。資産配分は「株式30%、債券(含、短期金融商品等)70%」を基本配分とした上で市場環境等の変化に対応するために、±20%程度の範囲内で基本資産配分に対する許容範囲を設けております。また、株式及び債券の内訳はリスクを抑制するため主に円貨建有価証券等で行います。

当期につきましては上記の基本方針の下、債券(含、短期金融商品等)部分についてマイナス金利環境に配慮したポートフォリオを構築し運用を行ってまいりました。

また、上記のような市場動向の下、今期のユニットバリューの伸び率は+3.07%となりました。

##### (2) 来期の運用方針

運用の基本方針については当期と変更はございません。また、来期の運用方針につきましても基本方針に基づいて運用を行ってまいります。

#### ○特別勘定選択タイプ

##### (1) 当期の運用方針及び運用内容

運用の基本方針は、ワールド・ミックス40、ワールド・ミックス60、ワールド・ミックス80については主として日本の株式・公社債等および海外の株式・公社債等を運用対象とする投資信託を組み合わせることにより、リスクの低減に努めつつ中長期的な運用成果を目指しております。基本資産配分及び資産別配分につきましては表1の通りです。また、市場環境の変化に対応するため±5%程度の範囲内で基本資産配分に対する許容範囲を設けております。また、マネープールについては円建ての短期金融商品等で運用し、流動性を十分配慮した運用を目指しております。

当期につきましても上記の基本方針の下で運用を行ってまいりました。また、上記のような市場動向の下で、資産配分を基本資産配分の許容範囲内に収めつつ、投資信託の組入れ比率を高水準に保つ運用を行った結果、当期のユニットバリューの伸び率は、ワールド・ミックス40で+2.81%、ワールド・ミックス60で+7.00%、ワールド・ミックス80で+10.43%となりました。

##### (2) 来期の運用方針

運用の基本方針については当期と変更はございません。また、来期の運用方針につきましても基本方針に基づいて運用を行ってまいります。

#### 〈表1〉

##### 〈基本資産配分〉

特別勘定名	株式	債券(含、短期金融商品等)
ワールド・ミックス40(バランス指向)	40%	60%
ワールド・ミックス60(成長指向)	60%	40%
ワールド・ミックス80(積極指向)	80%	20%

##### 〈資産別配分〉

特別勘定名	国内株式	外国株式	国内債券	外国債券
ワールド・ミックス40(バランス指向)	27%	13%	30%	30%
ワールド・ミックス60(成長指向)	40%	20%	20%	20%
ワールド・ミックス80(積極指向)	60%	20%	16%	4%

## 2. 保有契約高

区分	件数	金額(百万円)
最低年金原資保証タイプ	34	112
特別勘定選択タイプ	20	60
合計	54	173

## 3. ユニットバリューと運用利回りの推移

	最低年金原資保証タイプ		ワールド・ミックス40		ワールド・ミックス60		ワールド・ミックス80	
	ユニットバリュー	運用利回り	ユニットバリュー	運用利回り	ユニットバリュー	運用利回り	ユニットバリュー	運用利回り
2016年3月末	115.3975		139.2700		138.2979		128.5598	
2016年4月末	115.1035	-0.25%	136.3440	-2.10%	135.6263	-1.93%	127.2053	-1.05%
2016年5月末	115.9874	0.51%	139.5937	0.23%	139.9128	1.17%	131.7788	2.50%
2016年6月末	112.9387	-2.13%	134.0898	-3.72%	132.3277	-4.32%	123.7500	-3.74%
2016年7月末	114.6133	-0.68%	135.9550	-2.38%	135.6258	-1.93%	128.0417	-0.40%
2016年8月末	114.5297	-0.75%	136.1549	-2.24%	136.2158	-1.51%	128.6898	0.10%
2016年9月末	114.6825	-0.62%	135.2574	-2.88%	135.4271	-2.08%	128.4170	-0.11%
2016年10月末	116.3070	0.79%	136.7943	-1.78%	137.9982	-0.22%	131.9016	2.60%
2016年11月末	117.9272	2.19%	142.6540	2.43%	145.7247	5.37%	139.0272	8.14%
2016年12月末	119.0569	3.17%	146.0830	4.89%	150.6668	8.94%	143.9299	11.96%
2017年1月末	119.0295	3.15%	143.4376	2.99%	147.7659	6.85%	141.5288	10.09%
2017年2月末	119.3314	3.41%	144.5089	3.76%	149.4991	8.10%	143.4286	11.57%
2017年3月末	118.9353	3.07%	143.1775	2.81%	147.9748	7.00%	141.9738	10.43%

(注) ユニットバリューとは、各特別勘定の運用開始時を100として、「持ち分1口当たりの価値」を意味します。  
運用利回りはユニットバリューの2016年3月末からの伸び率を記載しております。  
マネープールについては2016年度の残高はございません。

## 4. 資産の内訳

(2015年度末)

(単位:千円、%)

区分	最低年金原資保証タイプ		ワールド・ミックス40		ワールド・ミックス60		ワールド・ミックス80	
	金額	構成比	金額	構成比	金額	構成比	金額	構成比
現預金・コールローン	158,003	4.2	1,674	2.7	218	1.9	2,013	3.7
公社債	2,557,799	67.6	—	—	—	—	—	—
株式	1,049,491	27.7	—	—	—	—	—	—
外国公社債	—	—	—	—	—	—	—	—
外国株式等	—	—	—	—	—	—	—	—
その他の証券	—	—	59,607	95.5	10,898	96.6	52,312	96.3
貸付金	—	—	—	—	—	—	—	—
その他	18,511	0.5	1,104	1.8	167	1.5	—	—
合計	3,783,805	100.0	62,387	100.0	11,285	100.0	54,325	100.0

(2016年度末)

(単位:千円、%)

区分	最低年金原資保証タイプ		ワールド・ミックス40		ワールド・ミックス60		ワールド・ミックス80	
	金額	構成比	金額	構成比	金額	構成比	金額	構成比
現預金・コールローン	739,664	19.7	1,841	3.0	127	1.1	2,747	9.0
公社債	1,898,563	50.5	—	—	—	—	—	—
株式	1,110,508	29.5	—	—	—	—	—	—
外国公社債	—	—	—	—	—	—	—	—
外国株式等	—	—	—	—	—	—	—	—
その他の証券	—	—	58,483	95.1	11,185	97.3	27,902	91.0
貸付金	—	—	—	—	—	—	—	—
その他	9,909	0.3	1,192	1.9	178	1.6	—	—
合計	3,758,645	100.0	61,517	100.0	11,490	100.0	30,650	100.0

(注) 2016年度末、2015年度末ともマネープールの残高はございません。

## 5. 運用収支状況(2016年4月1日～2017年3月31日)

(単位:千円)

項目	最低年金原資保証タイプ		ワールド・ミックス40		ワールド・ミックス60		ワールド・ミックス80	
	金額		金額		金額		金額	
	2015年度	2016年度	2015年度	2016年度	2015年度	2016年度	2015年度	2016年度
利息配当金等収入	27,821	26,673	20,649	3,991	1,519	181	18,334	6,790
有価証券売却益	160,763	95,547	—	—	—	—	—	—
有価証券償還益	—	—	—	—	—	—	—	—
有価証券評価益 為替差益	142,048	257,103	16,177	14,543	3,457	4,137	10,297	8,075
金融派生商品収益 その他の収益	—	—	—	—	—	—	—	—
有価証券売却損	65,181	54,688	—	—	—	—	—	—
有価証券償還損	—	—	—	—	—	—	—	—
有価証券評価損 為替差損	359,234	171,581	38,992	16,177	5,892	3,457	33,646	10,297
金融派生商品費用 その他の費用	—	—	—	—	—	—	—	—
	158	134	81	96	13	3	94	188
収支差計	▲93,941	152,919	▲2,245	2,260	▲928	857	▲5,110	4,379

(注) 2016年度末、2015年度末ともマネープールの残高はございません。

## 6. 国内公社債主要銘柄

### ○最低年金原資保証タイプ

#### (1) 銘柄の明細(保有上位10銘柄)

順位	銘柄名	種別	額面(千円)	時価単価	時価額(千円)	構成比(%)
1	第122回 利付国債(5年)	国債	430,000	100.79	433,399	22.8
2	第123回 利付国債(5年)	国債	420,000	100.85	423,561	22.3
3	第127回 利付国債(5年)	国債	400,000	101.02	404,062	21.3
4	第124回 利付国債(5年)	国債	400,000	100.89	403,552	21.3
5	第116回 利付国債(5年)	国債	110,000	100.75	110,822	5.8
6	第125回 利付国債(5年)	国債	86,000	100.94	86,808	4.6
7	第126回 利付国債(5年)	国債	36,000	100.99	36,356	1.9
8	—	—	—	—	—	—
9	—	—	—	—	—	—
10	—	—	—	—	—	—

#### (2) 種類別保有状況

(単位:千円、%)

項目	2015年度末		2016年度末	
	時価額	構成比	時価額	構成比
国債	2,557,799	100.0	1,898,563	100.0

### ○特別勘定選択タイプ

2016年度末、2015年度末とも国内公社債は保有しておりません。

## 7. 国内株式主要銘柄

### ○最低年金原資保証タイプ

#### (1) 保有上位30銘柄

(単位:株、千円、%)

順位	銘柄名	2016年度末				
		業種	株数	時価単価	時価額	構成比
1	トヨタ自動車	輸送用機器	6,100	6,042	36,856	3.3
2	三井住友フィナンシャルグループ	銀行業	38,300	700	26,798	2.4
3	日本電信電話	情報・通信業	3,800	4,752	18,057	1.6
4	ソフトバンクグループ	情報・通信業	2,100	7,862	16,510	1.5
5	三井住友フィナンシャルグループ	銀行業	3,800	4,045	15,371	1.4
6	本田技研工業	輸送用機器	4,400	3,351	14,744	1.3
7	KDDI	情報・通信業	4,800	2,922	14,025	1.3
8	みずほフィナンシャルグループ	銀行業	65,100	204	13,280	1.2
9	ソニー	電気機器	3,500	3,766	13,181	1.2
10	ファナック	電気機器	500	22,820	11,410	1.0
11	日本たばこ産業	食料品	3,000	3,618	10,854	1.0
12	武田薬品工業	医薬品	1,900	5,229	9,935	0.9
13	東京海上ホールディングス	保険業	2,000	4,696	9,392	0.8
14	NTTドコモ	情報・通信業	3,500	2,593	9,073	0.8
15	キーエンス	電気機器	200	44,580	8,916	0.8
16	東日本旅客鉄道	陸運業	900	9,694	8,724	0.8
17	セブンアイホールディングス	小売業	2,000	4,362	8,724	0.8
18	信越化学工業	化学	900	9,644	8,679	0.8
19	キャノン	電気機器	2,500	3,471	8,677	0.8
20	三菱商事	卸売業	3,600	2,406	8,659	0.8
21	三菱電機	電気機器	5,300	1,597	8,464	0.8
22	三菱地所	不動産業	4,000	2,030	8,120	0.7
23	花王	化学	1,300	6,104	7,935	0.7
24	村田製作所	電気機器	500	15,835	7,917	0.7
25	ダイキン工業	機械	700	11,185	7,829	0.7
26	任天堂	その他製品	300	25,835	7,750	0.7
27	ブリヂストン	ゴム製品	1,700	4,503	7,655	0.7
28	パナソニック	電気機器	6,000	1,258	7,548	0.7
29	アステラス製薬	医薬品	5,100	1,466	7,476	0.7
30	日本電産	電気機器	700	10,595	7,416	0.7

#### (2) 業種別保有状況

(単位:千円、%)

業種名	2015年度末		2016年度末	
	時価額	構成比	時価額	構成比
水産・農林	1,750	0.2	1,129	0.1
鉱業	2,816	0.3	3,428	0.3
建設業	33,368	3.2	33,208	3.0
食料品	55,040	5.2	49,332	4.4
繊維製品	11,205	1.1	6,845	0.6
パルプ・紙	-----	-----	3,049	0.3
化学	66,646	6.4	81,359	7.3
医薬品	61,122	5.8	53,066	4.8
石油石炭製品	4,858	0.5	6,562	0.6
ゴム製品	10,512	1.0	9,857	0.9
ガラス土石製品	7,408	0.7	10,693	1.0
鉄鋼	11,227	1.1	13,547	1.2
非鉄金属	7,123	0.7	10,446	0.9
金属製品	4,847	0.5	9,057	0.8
機械	47,222	4.5	59,825	5.4
電気機器	121,005	11.5	137,617	12.4
輸送用機器	102,109	9.7	100,653	9.1
精密機器	20,688	2.0	16,746	1.5
その他製品	8,459	0.8	18,649	1.7
電気・ガス業	21,206	2.0	19,683	1.8
陸運業	49,548	4.7	44,459	4.0
海運業	1,085	0.1	3,157	0.3
空運業	7,261	0.7	5,891	0.5
倉庫・輸送	-----	-----	2,831	0.3
情報・通信業	88,743	8.5	87,104	7.8
卸売業	41,093	3.9	48,866	4.4
小売業	62,004	5.9	55,316	5.0
銀行業	76,538	7.3	91,622	8.3
証券商品先物	7,597	0.7	13,762	1.2
保険業	25,545	2.4	28,530	2.6
その他金融業	15,140	1.4	13,528	1.2
不動産業	34,361	3.3	28,180	2.5
サービス業	41,950	4.0	42,494	3.8
全体	1,049,491	100.0	1,110,508	100.0

### ○特別勘定選択タイプ

2016年度末、2015年度末とも国内株式は保有しておりません。

## 8. 外国公社債主要銘柄・外国株式等主要銘柄

2016年度末、2015年度末とも最低年金原資保証タイプ、特別勘定選択タイプにおいて外国公社債、外国株式等は保有しておりません。

## 9. その他の証券主要銘柄

### ○最低年金原資保証タイプ

2016年度末、2015年度末ともその他の証券は保有しておりません。

### ○特別勘定選択タイプ

ワールド・ミックス40

銘柄の明細

順位	銘柄名	種別	口数	時価単価	時価額(千円)	構成比(%)
1	バランス30VA1 (適格機関投資家専用)	投資信託	31,086,093	1.6237	50,474	86.3
2	日本株式インデックス・オープンVA1 (適格機関投資家専用)	投資信託	4,084,248	1.9609	8,008	13.7

ワールド・ミックス60

銘柄の明細

順位	銘柄名	種別	口数	時価単価	時価額(千円)	構成比(%)
1	バランス50VA1 (適格機関投資家専用)	投資信託	4,918,996	1.8141	8,923	79.8
2	日本株式インデックス・オープンVA1 (適格機関投資家専用)	投資信託	1,153,609	1.9609	2,262	20.2

ワールド・ミックス80

銘柄の明細

順位	銘柄名	種別	口数	時価単価	時価額(千円)	構成比(%)
1	マイセクション75VA1 (適格機関投資家専用)	投資信託	10,968,819	2.0765	22,776	81.6
2	日本株式インデックス・オープンVA1 (適格機関投資家専用)	投資信託	2,614,176	1.9609	5,126	18.4